

関市水道事業経営戦略

関市水道事業

計画期間

平成31年度～平成41年度

目次

第1章 事業概要

- (1) 事業の現況
- (2) これまでの主な経営健全化の取組
- (3) 平成 29 年度決算の状況
- (4) 経営比較分析表を活用した現状分析

第2章 将来の事業環境

- (1) 現状における料金収入の分析（平成 29 年度実績値から）
- (2) 給水人口
- (3) 使用水量
- (4) 料金収入の推計
- (5) 業務指標
- (6) 施設新設、更新の見通し（新設・更新計画）
- (7) 組織の見通し

第3章 経営の基本方針

- (1) 経営の方向性
- (2) 経営戦略の性質
- (3) 今後の経営における目標設定

第4章 収支計画

第5章 収支計画の策定にあたっての説明

- (1) 収支計画策定の目的
- (2) 策定的前提条件
- (3) 収益的収入の積算根拠
- (4) 収益的支出の積算根拠
- (5) 資本的収入の積算根拠
- (6) 資本的支出の積算根拠
- (7) 収支計画における料金改定の見込み
- (8) 資産と負債の見込み

第6章 収支計画についての検討状況

- (1) 収益的収入についての検討状況等
- (2) 収益的支出についての検討状況等
- (3) 資本的収入についての検討状況等
- (4) 資本的支出についての検討状況等

第7章 今後検討予定の取組みの概要

- (1) 資産の有効活用
- (2) 民間資金・ノウハウ等の活用
- (3) アセットマネジメントの実施
- (4) 施設・設備の合理化
- (5) 施設・設備の長寿命化等の投資の平準化
- (6) 広域化
- (7) 資産（現金預金）の運用
- (8) 危機管理
- (9) その他の取組

第8章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

- (1) 経営戦略の事後検証
- (2) 経営戦略の更新
- (3) 経営戦略の更新の承認、報告、周知

(経営戦略策定の趣旨)

関市水道事業は生活に必要不可欠な水を住民に安全に提供することを目的として、昭和27年に創設され、平成17年の市町村合併を経て、現在まで給水エリアを拡大しながら給水事業を行っている。

安定的な水道水の供給のためには、水道施設の整備や維持管理、水質の保全管理等のさまざまな業務を行わなければならないが、その中で多くの施設は老朽化が進んでおり、その更新や修理には多大な費用が必要であることから、今後の経営状況は厳しいものとなることが予想される。

今後も恒久的に清潔な水を住民に届け続けることは水道事業者の使命である。

そのため、ここで関市水道事業では現状と問題点を把握して将来を見通し、新たな投資・財政計画（収支計画）を立て、計画的かつ合理的な施設整備をはかるため、この経営戦略を策定する。